

岡山県

岡山県退職校長会

結成 昭和41年6月1日

岡山県では、岡山県退職小学校長会、岡山県退職中学校長会、岡山県退職高等学校・特別支援学校長会がそれぞれに組織され独自の活動を展開している。加えて、小・中・高特退職校長会の三者の連合体として昭和41年に岡山県退職校長会が結成された。この岡山県退職校長会はそれぞれの学校種の自主性を大切にしながら、相互に連携・協力し、会員の福利増進、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の現職校長会、そして県・市教育委員会等との円滑な連携を深めることなどにより本県学校教育の振興に寄与することを目的に活動している。

この岡山県退職校長会の活動内容は、役員会の開催、岡山県教育問題懇談会の開催、中国地区退職校長会連絡協議会への参加、全国連合退職校長会への参加等があげられるが、中でも昭和44年に会員有志によって初めて開催された「岡山県教育問題懇談会」には毎年度鋭意取り組んできた。

この懇談会には、現在、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、現職小・中・高特校長会長、岡山県退職小・中・高特校長会長、同副会長、同事務局長等が一堂に参加し、行政・学校教育現場の現状と課題、問題改善についてのそれぞれの報告をもとに課題改善のための真剣な協議が継続してなされてきた。そして、この懇談会は岡山県が制定した「おかやま教育の日」の趣旨を生かし、岡山県の学校教育が円滑に充実して行われるよう支援するための会議としてその意義が再認識されつ



第57回岡山県教育問題懇談会
令和7年1月27日

つある。この懇談会のテーマは、当初の「教育の正常化を図るために」、「青少年問題」から、時代の移り変わりを反映して「校内暴力」、「初任者研修」、「学校週五日制」、「新しい学力観」、「教職員の評価システム」「学力向上といじめ・不登校」、さらに現在は「教員の人材確保・人材育成と働き方改革」、「GIGAスクール構想の実施に向けて」、「児童・生徒数の減少に伴う学校の現状と今後の展望」等、課題は移り変わってきているが、これらはその時その時の教育の重要課題であり、教育をめぐる世相を反映しているとも思われる。この懇談会については、岡山県退職校長会の活動のメインとして、発足当時の精神を忘れず、より充実した会に発展させ、県市教育委員会、現職校長会と力を合わせて岡山県教育の振興・発展のために今後とも頑張っていきたい。

そして、このような各都道府県の願いや活動を、全国連合退職校長会が率先して国や文部科学省にお伝えくださり、我が国の教育のさらなる振興が図られますよう心から念願している。